



図書館サポーターズだより

明日に吹く風



暖かな風が吹き始め、春を感じる気候になりましたね。色々と環境が変わり、どこかそわそわするような落ち着かない気持ちになっている方もいるのでは？そんな時には本を開いて一息つくのもいいかもしれません。それでは今月のオススメの本を紹介致します。

～図書館サポーター推薦図書～

『フツーな大学生のあなたへ』

桑島紳二・花岡正樹 著 (377.9 || Ku95)



大学 4 年間はあっという間です。皆さんは大学生活をどのように過ごしていますか？講義や課題、部活にサークル、バイトや趣味にも手を伸ばしつつ…それぞれ思い思いに忙しく過ごしていることと思います。しかし、「大学で何をしたら良いのかわからない」「やりたいことが見つからない」こう感じている人もいるでしょう。何を隠そう私もそういった大学生の 1 人でした。そしてもうじき卒業です（執筆時）。正直もっと色々なことをやっておけばよかったなあと後悔しています（笑）。

大学の 4 年間は人生で最も純粋に自分の好きなもの、興味のあるものに向き合える時間であり、そしてそこで培った経験は今後の人生の心の糧となると私は考えています。もし大学で同じような悩みを感じているのならば、この本が背中を押してくれるかもしれません。 (Y.Y)

『白ゆき姫殺人事件』

湊かなえ 著

(913.6 || Mi39)



現代の日本では SNS などのコミュニケーションツールは当たり前。多くの情報や見知らぬ人とのつながりが簡単になりました。しかし、この本をとったあなたは SNS の簡単ゆえの恐ろしさを知ることとなります。この物語は、化粧品会社に勤める美人社員・三木典子が何者かに惨殺される事件が起こります。典子と同期入社で地味な存在の女性・城野美姫に疑惑の目が向けられる中、美姫の同僚や同級生、故郷の人々や家族の口からは美姫に関する驚くべき内容の証言が飛び交っていきます。

冒頭は城野美姫の証言から始まり、次々と登場人物からみた視点で話が展開されていきます。みなさんも一緒に犯人を捜し、この事件の真相を解き明かしてみてください。

(R.Y)

『絵解き 江戸しぐさ』

和城伊勢 著

(385.93 || W44)



「江戸しぐさ」という言葉を聞いたことがありますか？これは、全国各地から江戸というそれほど広くも無いエリアに百万人も人が集まっていたために、喧嘩などのトラブルを互いに避け、気持ちよく暮らすためのルールや工夫のことです。少し前の日本では、この日常の立ち居ふるまいから言葉づかいまで人との付き合い全般にわたる知恵を「江戸しぐさ」として、親から子へ、年配者から若者へと伝えられ、庶民の生活の中で普通に行われていることでした。

「ありがとう」といったよく耳にする言葉から「夜明けの行灯」といったあまりきいたことのない言葉まで、道路や電車・バスの中、人との付き合いかたといった日常のちょっとした場面で使うことのできる様々なしぐさが詰まっています。是非、一度読んでみてください。 (M.K)

* 図書はメインカウンター脇にあります。ご利用ください。

